

# 『(仮) しんこい Wa 未来ビジョン』

## 素案



新小岩の将来像



# CONTENTS

## 第①章 はじめに

---

- 背景と目的 \_\_\_\_\_ 1
- (仮) しんこい Wa 未来ビジョンとは \_\_\_\_\_ 2
- エリアマネジメントとは \_\_\_\_\_ 2
- ビジョンの対象エリア \_\_\_\_\_ 2
- ビジョンの位置付けと計画期間 \_\_\_\_\_ 2

## 第②章 地域力向上しんこい Wa の未来ビジョン

---

- 新小岩の将来像 \_\_\_\_\_ 3
- 新小岩の現状 \_\_\_\_\_ 4
- まちの課題 \_\_\_\_\_ 5
- まちの方向性 \_\_\_\_\_ 6

## 第③章 将来像実現に向けた取組

---

- 将来像の展開 \_\_\_\_\_ 7
- 【取組の5つのキーワード】
- Warmth (人の温かさ) \_\_\_\_\_ 8
- Wellness (健康・幸福) \_\_\_\_\_ 9
- Wonderful (おどろき・感動) \_\_\_\_\_ 10
- Way (つながる道) \_\_\_\_\_ 11
- Walkable (歩きやすさ・心地よさ) \_\_\_\_\_ 12
- 体系図とロードマップ \_\_\_\_\_ 13

## 第④章 今後の展開と推進体制

---

- (仮) しんこい Wa 未来ビジョンの実現に向けた推進体制 \_\_\_\_\_ 15
- 目標達成を測る指標の設定 \_\_\_\_\_ 15

## 資料編

---

- 現状分析データ \_\_\_\_\_ 16
- 地域力向上しんこい Wa メンバー紹介 \_\_\_\_\_ 19
- 策定の経緯 \_\_\_\_\_ 21

# 第 1 章 はじめに

## 背景と目的

### 新小岩における官民連携の取組

- ・新小岩には自治町会や商店会が加盟する、「新小岩北地域まちづくり協議会」と「新小岩南地域まちづくり協議会」があり、昭和 60 年代の設立以降、まちづくり活動を行っています。
- ・令和5年度からエリアマネジメントの仕組みや公共空間活用を検証するための社会実験イベント等をまちづくり協議会と区の共催で開催し、地域のにぎわい創出や活動の持続性に向けた検討を協働で進めています。
- ・再開発事業支援、総合病院誘致、駅ビルへの公共施設開設、大学との健康推進連携、スポーツクラブとの高齢者支援連携など、官民が協働し、ソフト面・ハード面の整備を積極的に進めています。

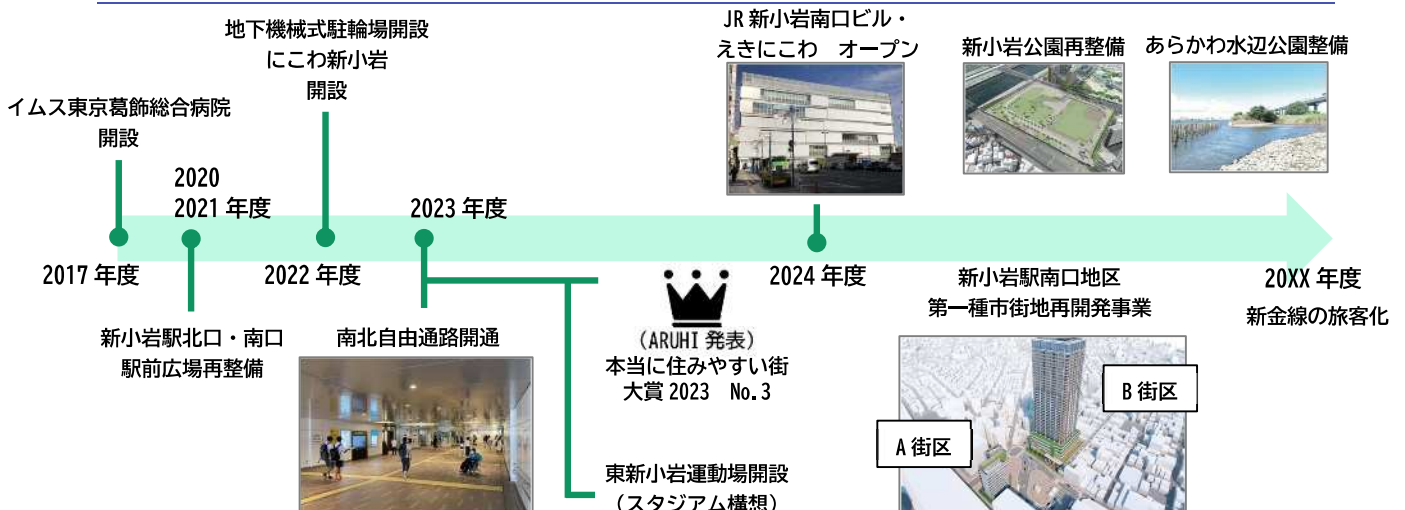
### 背景

- ・新小岩は人口増加傾向にあり、15～64 歳の生産年齢人口が多くを占める非常に活気のあるまちであり、近年では、駅周辺の基盤整備やまちづくりが進んでいることから、“まち”も“ひと”も変化するターニングポイントを迎えています。
- ・このようなハード整備が今後もさらに進む新小岩では、住民をはじめとした、さまざまな関係者が多様な空間をより良く使っていくためのルールや体制などソフトの仕組みづくりが必要になっています。

### 目的

- ・活動者の多い新小岩地域では、これまでのように官民の連携のみならず、個々(民と民)の連携を向上させ、地域主体の地域に根付いた活動の推進と地域の価値向上が望まれます。
- ・「(仮)しんこい Wa 未来ビジョン」は、多様な地域のプレイヤーが将来像を共有し、1つ1つの活動が地域価値を向上させていることを「ジブンゴト」として参画・連携してまちづくりに取り組むための“道しるべ”の役割を持っています。

### 主なまちづくりの動向



約 150 店舗が並ぶ  
新小岩ルミエール商店街



新小岩駅周辺に立ち並ぶ  
中高層マンション



公共空間を活用した  
イベントの様子  
(新小岩駅南口駅前広場)

### (仮)しんこい Wa 未来ビジョンとは

- ・「地域力向上しんこい Wa」は、新小岩地域に関わる多様な人々が参加し、当地域の将来像を描き、その将来像をもとに活動・情報共有・連携するためのフラットな会議体(エリアプラットフォーム)として、令和6年8月30日に設立されました。
- ・「(仮) しんこい Wa 未来ビジョン」は、地域力向上しんこい Wa が策定した将来像となります。
- ・このビジョンでは、新小岩地域の価値向上のための共通の青写真(将来像)を描き、その将来像を実現するための具体的取組や役割分担、ロードマップを定めています。

私たちは、このビジョンに基づいて取組み、まちづくり活動を広げていきます。

### エリアマネジメントとは

- ・地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組のことで。
- ・新小岩におけるエリアマネジメントでは、エリアプラットフォームの構築や未来ビジョンの策定、エリアマネジメント組織の組成などについて検討します。
- ・持続的に活動できる取組となりうるかの検証として、駅前広場等の公共空間を活用した社会実験(イベント)を実施しています。

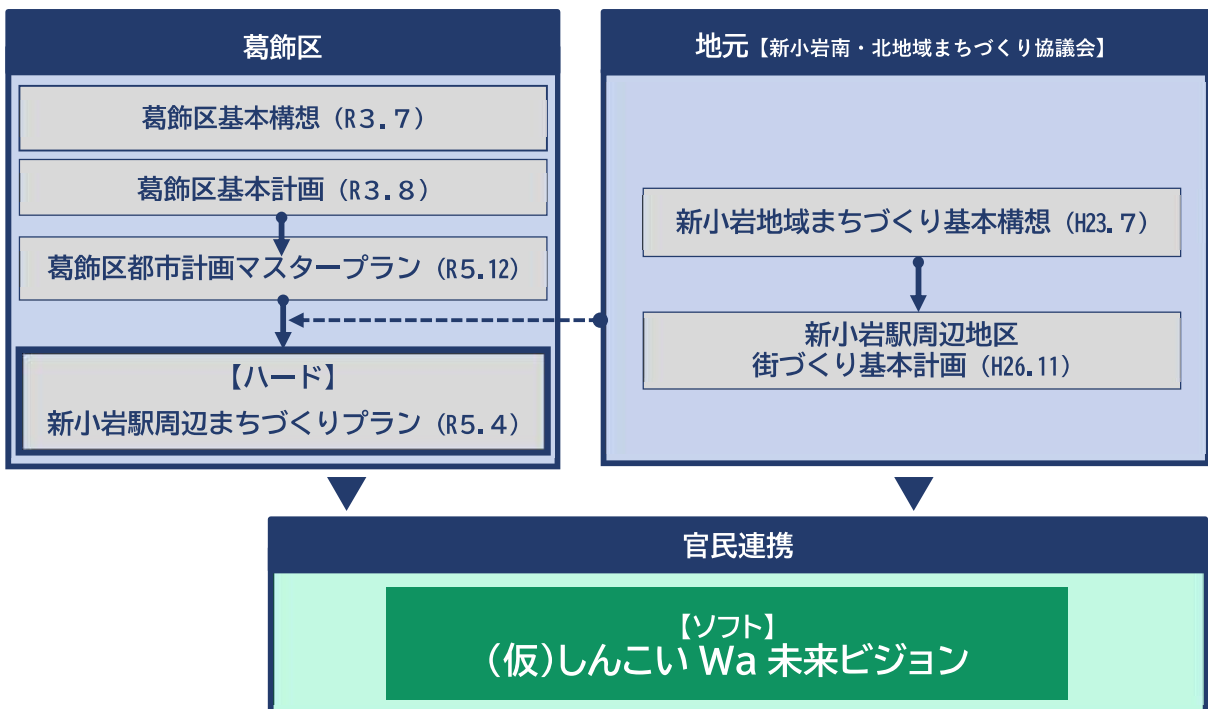
### ビジョンの対象エリア

- ・(仮)しんこい Wa 未来ビジョンの対象エリアは、葛飾区新小岩、東新小岩、西新小岩を範囲とします。



### ビジョンの位置付けと計画期間

- ・(仮)しんこい Wa 未来ビジョンは、関連する上位計画や新小岩南・北地域まちづくり協議会で作成した地元計画、新小岩駅周辺のまちづくり(ハード)の方向性を示す「新小岩駅周辺まちづくりプラン」を踏まえて、『新小岩駅周辺の関係者が取り組むまちづくり(ソフト)』の指針となる計画に位置付けます。
- ・計画の期間は20年です。



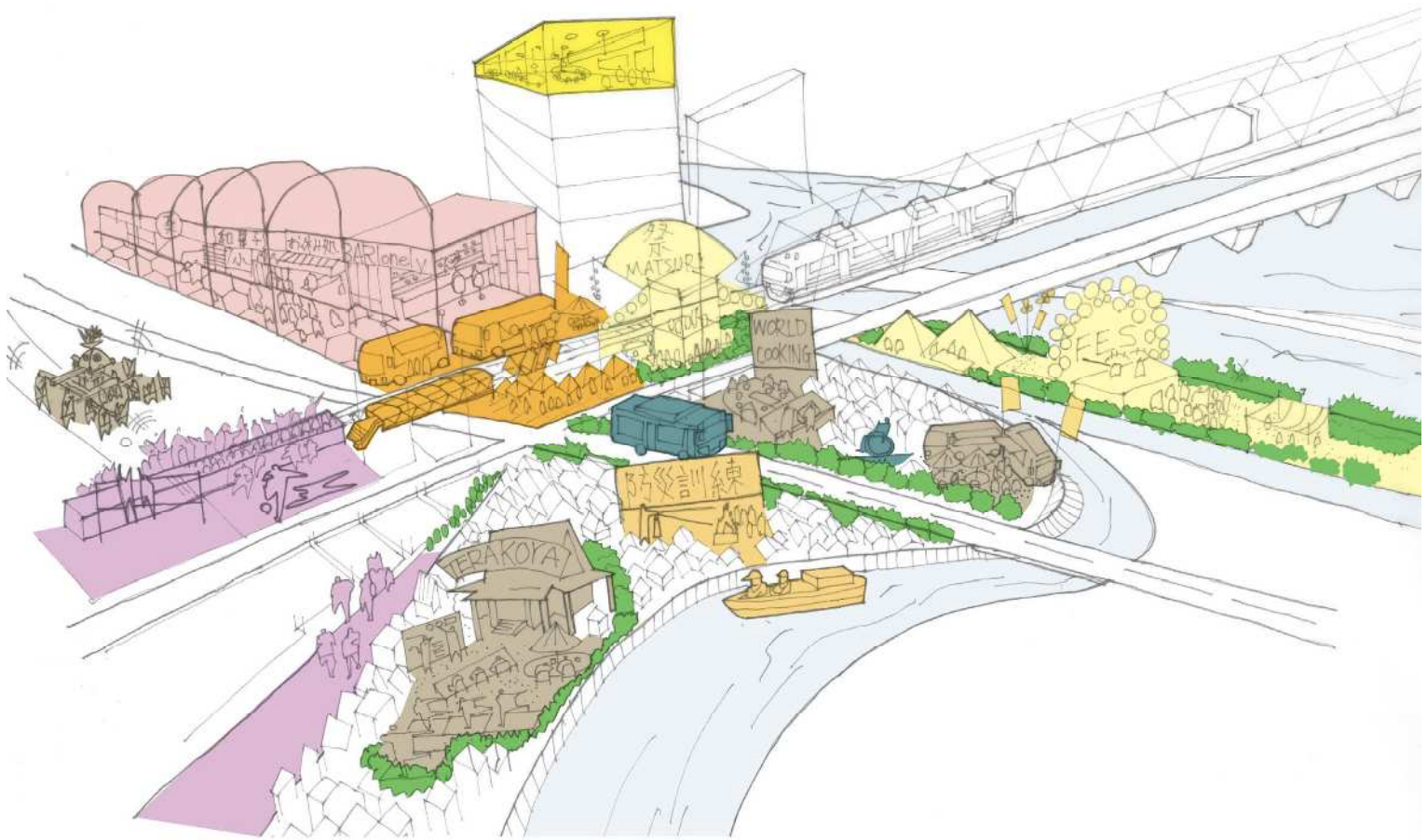
## 第 2 章 地域力向上しんこい Wa の未来ビジョン

### 新小岩の将来像

新小岩では、駅南北自由通路整備により、南北の移動が容易となるとともに、運動施設や公園、複合機能施設など公共施設が充実しています。

更に、民間開発や再開発、総合病院、駅ビルなどの民間整備が進み、「ヒト」と「まち」が変化しています。

変化する新小岩において特色である商店街や地域コミュニティなど資源を活かして、多様なヒト・モノ・コトが「つながる」ことで、地域の賑わい向上、価値向上を実現させます。

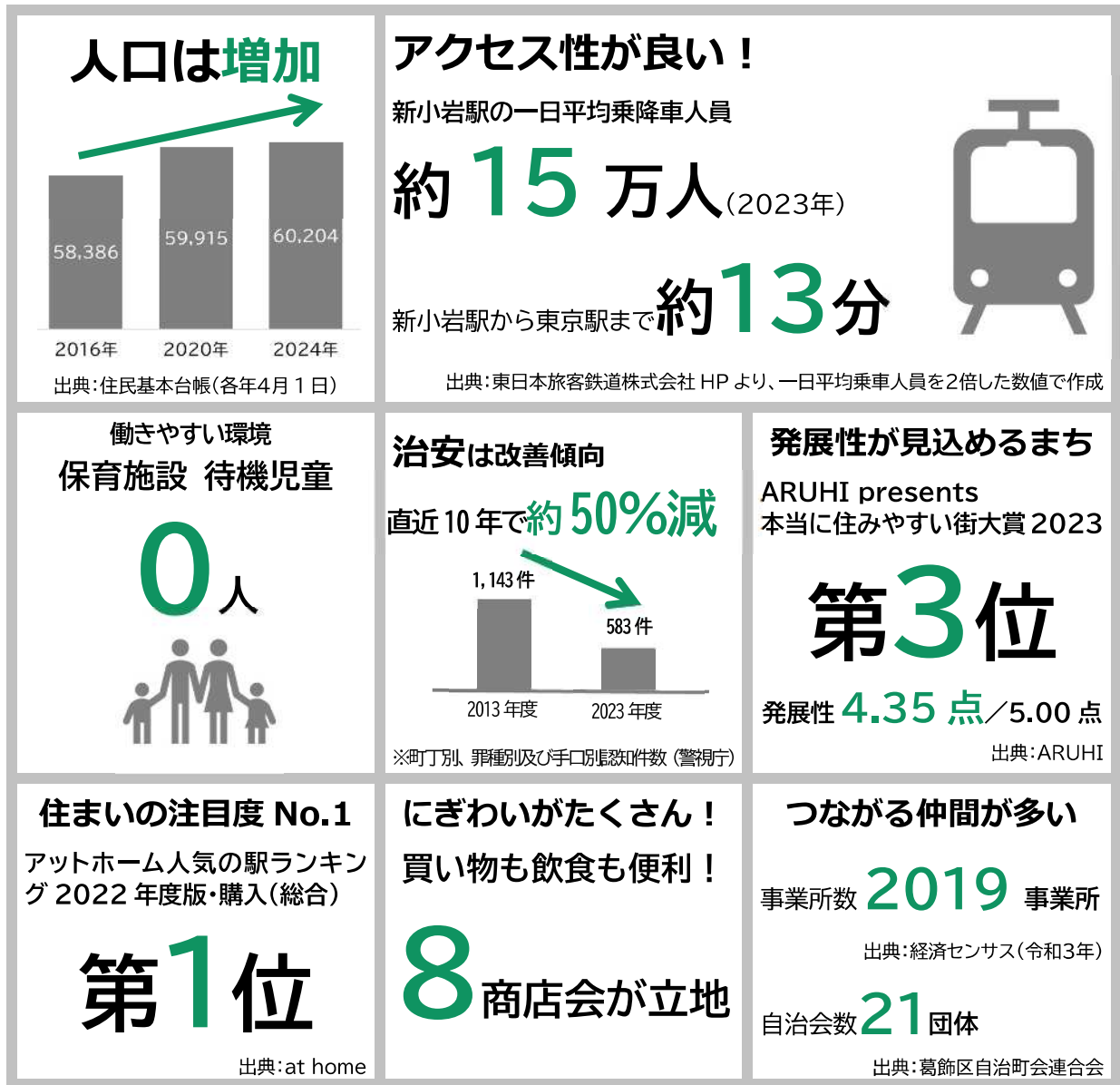


- このあと説明する未来ビジョンでは 20 年後の将来像を「5つの W(5W)」で表現しています。
- 新小岩には、平坦な地形の上に住宅が広がりを見せ、その中に大規模なものからローカルで身近なものまで多彩なパブリックスペースが数多く存在しています。(大規模なもの:大規模公園・運動場、ローカルで身近なもの:駅前広場、身近な公園、ビル内公共施設・広場、商店街、寺社境内など)
- このようなパブリックスペースで展開される風景は、これまで、新小岩の懐の広い、良い下町イメージを形成してきました。そして、これからの新小岩のまちづくりにも活用できるポテンシャルを大いに秘めています。
- 5Wの実現に向けては、これら様々なパブリックスペースを活用して、日常生活を豊かなものにし、同時に非日常の体験を味わえるような取り組みを進めていきます。

※上図は、パブリックスペースを活用した、まちなかでの多彩な取り組み案を表現したイメージ図です。今後、コアメンバー会議や、エリプラ会議でさらに詳細を詰めていきます。

## 新小岩の現状

### ●データで見る、新小岩



### ●地域関係者へのヒアリングによる新小岩の特徴



#### まちの資源

##### ■空間

南口・北口駅前広場  
東北広場  
スカイデッキたつみ  
にこわ新小岩・えきにこわなど公共施設  
公園や荒川沿い土手など屋外公共空間  
駐輪場、鉄道駅

##### ■名物

モンチッチ(公園)  
個性ある商店街や個店

##### ■活動・イベント

駅前広場を活用した各種イベント  
民間での地域貢献活動 など



#### 地域属性や生活の特徴

##### ■住んでいる人や住宅の特徴

- ・多文化、多国籍な住民が多い。
- ・開発に伴いファミリー層の増加が見込まれる。
- ・集合住宅も多く一人暮らしの高齢者も多い。
- ・駅から離れると閑静な住宅街が広がっている。

##### ■生活環境の特徴

- ・徒歩や自転車での移動が容易。
- ・一通りの日常生活が新小岩エリア内で完結でき、暮らしやすい。
- ・総合病院などもあり、健康・福祉面も充実している。
- ・人の目が行き届くような防犯性が確保されている。

まちの課題

●エリア全体の課題

○関係者ヒアリング

- ・治安やマナーの心配
- ・新小岩イメージに良くない部分がある
- ・新規住民とのコミュニティが希薄
- ・外国人とのコミュニケーションが難しい
- ・活動団体の高齢化や担い手不足
- ・多世代交流できる場が減少

○コアメンバー会議でのワークショップ

- ・防犯面が心配
- ・歩行空間に障害のある方へのバリアがある
- ・高齢者とのコミュニケーションが不足
- ・若い世代の新小岩の歴史・文化の理解を深める機会が不足

○社会実験の活動でのヒアリング

- ・マンパワーの不足
- ・情報発信の不足
- ・活動費の確保が難しい
- ・商店街との連携の不足

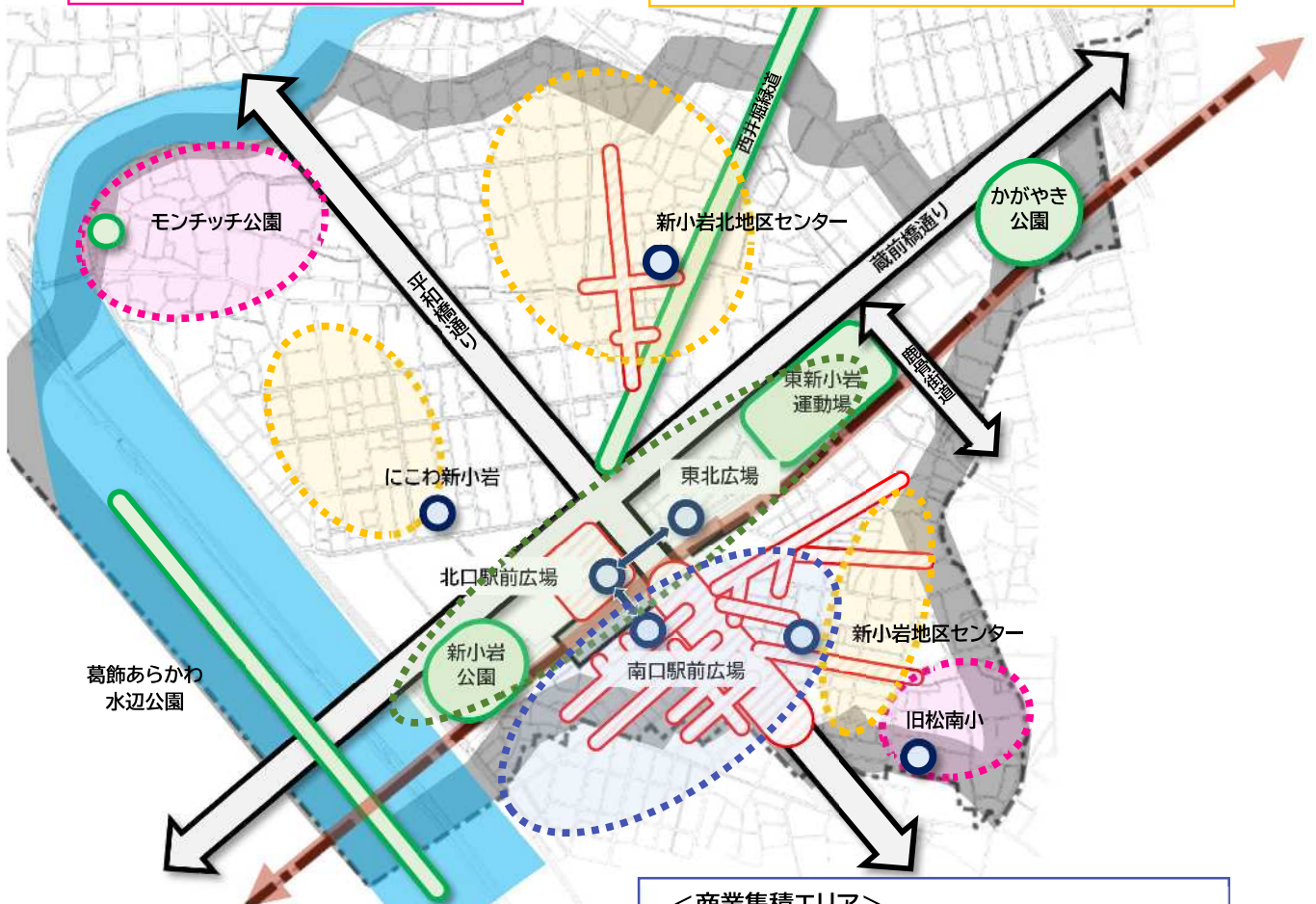
●エリアごとの課題・資源

<防災面で課題を抱えるエリア>

- △緊急車両の進入が難しい
- △防災意識を高める必要がある。
- 地域に防災の拠点となる施設を有する。

<駅から離れ、骨格道路より遠いエリア>

- △人通りが少なく町の明かりが薄れ防犯面で心配
- △人通りが少なく賑わい起こしが難しい。
- △住宅地であるがつながりが希薄化。
- △外国人が増加し、コミュニケーションが困難
- △生活施設が少なく不便。
- △商店や商店街の維持向上のために情報発信が必要。
- 閑静な住宅街



<駅前エリア>

- △駅前広場等の整備が進んだが、更なる活用が必要。
- △好立地である駅前以更なる魅力発信が必要。
- 広場や公園、運動場、公共施設など整備が進む。

<商業集積エリア>

- △外国人居住者増→コミュニティ形成に難あり
- △海外飲食店テナントの増→商店街のターゲットに変化
- 夜間まで稼働している飲食店等、個性的な店舗が多く、商店街の集客力の源泉



まちの方向性

まちの現状や資源、特徴から考えられる3つの「まちの課題」に焦点を当てた課題解決の方針を定めます。課題解決、そして、将来像実現に向けた「課題解決のためのプロジェクト」を定めます。



# 第③章 将来像実現に向けた取組

## 将来像の展開

- ・(仮) しんこい Wa 未来ビジョンでは、20年後の将来像「まちの Wa つくろう！新小岩」を実現するための 5 つのキーワード(Warmth・Wellness・Walkable・Wonderful・Way)に分類し、それぞれの分野が相互連携することで、新小岩が一体となったまちづくり活動の推進を図ります。
- ・「歩きやすいまちなか」をめざす Walkable は、他の4つの「Wの基盤となるキーワード」になります。Warmth・Wellness・Wonderful・Way は新小岩に関わる方の活動のつながりを拡大・創出するキーワードで、Walkable はその活動の環境を整える基盤となるキーワードです。

## 20年後の将来像 『まちの **Wa** つくろう！新小岩』



### ●まちづくりの方針図 (将来絵)



人の温かさ

# Warmth 共助の輪ができてこそ、人の温かさを感じる



新小岩に残る“人の温かさ”を核としたまちづくり、人づくりを行います。新小岩の資源である商店街や自治町会等を中心に新たな交流の機会を創出し、世代を超えて人と人が結びつくことで、地元愛や絆を育みます。まちを想う人の輪が広がることによって、個性的で人情味のあるまちの形成を促します。

## 目標・効果①

### 新小岩の商店街や個人、新たなプレイヤーが活躍している

- ・新小岩の商店街や個人店舗、企業と連携した定期的な賑わいイベントを実施する。南北駅前広場を中心とした公共空間に出店・PRできる機会を提供することで、賑わいをまち全体へ波及させる。
- ・商店街や個人店舗へ日常的に通うきっかけをつくることを目的として、学習塾や習い事、コミュニティ倶楽部など集客の核をまちなかで実践する。
- ・新たに新小岩にお店を構えたい方や、副業で小商いをしてみたい方の背中を後押しするマルシェやポップアップショップ等での販売機会の提供によるプレイヤー育成と共に、情報発信の支援、プレイヤー同士の情報共有などの関係性を構築する。



趣味のクラフト作品等を販売したことをきっかけに小商いにつなげる人もいる。(令和5年度社会実験)



社会実験をきっかけに、ファミリー層をターゲットにしたイベントをまちづくり協議会中心に継続中。(新小岩北地域まちづくり協議会)



大学サークルによる化学実験教室。さらに卒業生が運営するプログラミング教室が新小岩が開設。(令和6年度社会実験)

## 目標・効果②

### 災害時にも助け合える日常的なコミュニティがある

- ・既存の地域の防災訓練や防犯活動について情報発信や活動の幅を広げることで、国籍や世代の壁を越えた参加促進や防災意識を高め、共助の輪を構築します。
- ・水害や地震、火災など多様な視点から防災について考える機会やシンポジウムなどのイベントを実施することで、地域住民や企業間での防災コミュニティを作ります。



救命ボートを使って、他地区の町会との合同訓練を実施。(東新小岩七丁目町会)



中国料理・水餃子づくりを通じた住民交流会。調理で出たゴミ捨て方など地域ルールもレクチャー。(西新小岩リバーハイツ)



旧松南小学校で開催された「新小岩総合防災フェスタ!」。車両展示や体験イベントなどを実施。(東栄信金通り会)

# Wellness まちも人も心地良く年輪を重ねる



新小岩で暮らす人や働く人、訪れる人が心身ともにいつでも健やかでいられる環境を整えます。「体を動かす」「幸福度が増す」などの健康意識がまちに広がる仕組みを構築し、子どもから大人まですべての人が喜びを共有することができるまちを目指します。

## 目標・効果③

### 楽しく・健康に暮らせる

- ・医療機関や福祉機関、スポーツ施設との連携により、住民や働く人の健康意識を醸成する健康・栄養講座を開催します。
- ・地域の大運動会など子どもから大人まで楽しめるコンテンツを開発し、健康増進とともに地域コミュニティの強化を図ります。



東新小岩運動場にて小学生向けのサッカー大会「キャプテン翼 CUP」を開催。



誰でも参加可能な無料公開講座を定期的に開催。(出典：イムス東京葛飾総合病院 HP)



「かつしかスポーツフェスティバル」では、家族や地域との関わりを深めるとともに、運動やスポーツを行う機会と場を提供。

## 目標・効果④

### まちの移動が楽しくなるような仕組みが備わっている

- ・まちを移動しながらお店の情報を得ることができたり、イベントに参加できるような仕組みを作ります。
- ・外出をして、街を歩くことが目的となるような、魅力スポットを巡る街歩きコースや、自然を感じる散歩コースなどを開発し、普及します。



観光スポットを巡るウォークラリーなどスマートフォンで楽しみながら健康づくりができるアプリを配信。



新小岩駅南口にある 12 店舗をめぐる「まちめぐりスタンプラリー」を開催。(新小岩南地域まちづくり協議会)



「モンチッチに会えるまち かつしか」新小岩の名所とグルメめぐり

新小岩の名所を巡りながら、葛飾の商店街や観光スポットを散策できるイベント「駅からハイキング&ウォーキングイベント」を開催。(JR 東日本)



# Wonderful 目を丸くして、驚き・感動できる暮らしがある

住民ひとりひとりのチャレンジは、まちの風景を鮮やかに彩ります。「まちで気軽にチャレンジできる」という状態が日常に根付き、新しい出会いや体験が驚きと感動を誘発する循環システムをつくります。

## 目標・効果⑤

### 新小岩の顔となる場のポテンシャルが存分に活用されている

- ・新小岩公園や東新小岩運動場など、新小岩の核となる施設を存分に活用し、新小岩の唯一無二のアイデンティティを育みます。
- ・子どもたちが大人になっても記憶に残る、地元の思い出やまちの原風景をつくります。



新小岩公園では「かつしかフードフェスタ」や「下町ハイポールフェス」などの大型イベントを定期的を実施。



令和6年9月から区の体育施設として利用が開始された東新小岩運動場では、今後、スポーツイベントの開催などの新たな賑わい創出が期待できる。



葛飾あらかわ水辺公園では、「新小岩 River Front Festa.」などを実施。

## 目標・効果⑥

### 自然や地形、夜型飲食など新小岩らしさを存分に楽しめる

- ・荒川水辺や土手文化など、地形や風景を楽しむアクティビティやイベントを創出します。
- ・都市農園やコミュニティガーデンなど地元住民が野菜を育てることができる場所を整備・保全し、食育プログラムやガーデニングワークショップを開催します。
- ・新小岩の特徴である夜もにぎわうまちなかで、より安全に楽しめるコンテンツを提供します。
- ・新小岩公園や荒川の水辺など屋外空間を利用したヨガやデイキャンプなどを開催することで、健康な身体を育むとともに、新小岩の自然の豊かさを再発見します。



スカイデッキたつみにて、イルミネーションに合わせたナイトタイムイベント（占い、飲食等）を実施。（令和6年度社会実験）




地域のコミュニティガーデンや葛飾区立旧松南小学校の森づくりを通じて、人と人の繋がりを目指した活動を実施。（松南の森プロジェクト）



新小岩駅の南北には、個性あふれる商店街や飲食店が広がっており、定期的な商店街イベントを実施。（新小岩ルミエール商店街）

つながる道

# Way 人と人、モノやコトとのつながるための**交点**をつくる



地域文化や歴史を持つ新小岩において、地域住民が自らの力で目指す未来を手にするためには、自分に合ったまちとの関わり方で楽しむことが大切です。そのために、望む未来に向けた一步を踏み出す人を後押しするしくみやネットワークを整えます。

目標・効果⑦

## 歴史の継承や趣味の広がりが人同士のつながりを育んでいる

- ・新小岩が大切にしている祭礼行事や手習い文化、人情あふれる人柄を後世にも引き継いでいくため、未来を担う子どもたちが文化を体験する機会を設けます。
- ・その道のプロフェッショナルと知り合えたり、誰でもふらっと立ち寄れる居心地のよい場や独りにしない居場所づくりなどの場や体制を整えます。
- ・発表や展示等、住民の活動の成果を披露できる公共空間を積極的に活用できるしくみを整えます。



新小岩納涼盆踊り大会は、子どもたちが新小岩の伝統文化に触れる良い機会であり、長年実施。(新小岩栄通り会)



親子で和太鼓や盆踊りの教室に通うことができ、地域のイベントで発表をする機会を提供。(新小岩親子伝統文化倶楽部)



大人から子供まで神輿を担うことができる「新小岩天祖神社例大祭」を毎年実施。(新小岩第四自治会)

目標・効果⑧

## まちの多様な魅力が情報発信されている

- ・まちのイベントや文化など、子どもたちの体験活動に関する情報を集約・発信し、誰もが容易に情報を得られるしくみを整えます。
- ・SNS やサイネージなどのデジタルコンテンツを活用し、アップデートしやすい発信方法を採用します。



新小岩の多様なイベント情報を集約し、発信。(しんこい one あんない)



新小岩で開催するエリアマネジメント社会実験イベントの情報を発信。(新小岩エリアマネ X、Instagram)



スカイデッキたつみにて、デジタルサイネージを使用し、地域情報や企業広告の発信を実施した。(令和5年度社会実験)

歩きやすさ・心地よさ



# Walkable まちをまるごと歩く人中心でつくり方を考える

新小岩は駅を中心として商業機能が集積し、その周りを住宅地や河川などの自然資源が取り囲む構造をしている。また、エリア内では複数の公共施設が立地し、主要な施設へのアクセスも確保しつつ、思わず歩き回りたくなる“歩行者中心”のまちを目指します。Walkable なまちは他の4Wの基盤ともなります。

目標・効果⑨

## まちじゅうにサードプレイスがある

- ・公園や公共施設、民地内の広場等敷地内の公共的空間のみならず、人が普段利用する道路上でも積極的に居心地の良い滞留空間（サードプレイス）の創出を進めます。
- ・ストリートファニチャーや統一感のある案内サインを配置するなど歩きやすい歩行空間の充実を図ります。
- ・誰もが公共空間や公共施設にアクセスしやすく、使いやすいように環境を整えます。



新小岩南口駅前広場に人口芝と簡易ベンチを設置し、誰もが居心地よく過ごせる滞留空間を創出。（令和5年度社会実験）



葛飾区金町の事例。道路上でキッチンカー販売、公開空地ではテラス席を設置することで、近隣住民に憩いの場を提供。（すずらん通り OPEN STREET PROJECT）



豊島区の事例。歩道上にストリートファニチャーを設置し、日常的な通行者に憩いの場を提供。

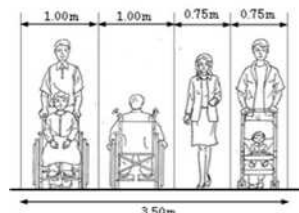
目標・効果⑩

## 安全に安心して移動できる

- ・歩行者が安全に安心して歩ける歩行空間の実現を目指します。
- ・イベントや地域活動、商店街、病院など地域の目的地となるルートへ誰もが円滑に・気軽に移動できる良好な環境を創出します。



ビルの際間の空地にベンチを設置することで、誰でもくつろぐことができる空間を提供。



車いすの方とも安全にすれ違うことができるような、バリアフリーで歩行者にやさしいみちづくりを推進。（出典：国土交通省：道路の移動等円滑化に関するガイドライン）



「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり。まちなかの官民のバリエーション空間をエリア一体的に捉え、居心地が良く歩きたくなるまちなかを推進。（出典：国土交通省）

体系図とロードマップ

キーワード	目標・効果	短期 (～5年後)
<b>Warmth</b>	①新小岩の商店街や個人、新たなプレイヤーが活躍している	
	②災害時にも助け合える日常的なコミュニティがある	
<b>Wellness</b>	③楽しく・健康に暮らせる	
	④まちの移動が楽しくなるような仕組みが備わっている	
<b>Wonderful</b>	⑤新小岩の顔となる場のポテンシャルが存分に活用されている	
	⑥自然や地形、夜型飲食など新小岩らしさを存分に楽しめる	
<b>Way</b>	⑦歴史の継承や趣味の広がり人が人同士のつながりを育んでいる	
	⑧まちの多様な魅力が情報発信されている	
<b>Walkable</b>	⑨まちじゅうにサードプレイスがある	
	⑩安全に安心して移動できる	





## 第4章 今後の展開と推進体制

### (仮)しんこい Wa 未来ビジョンの実現に向けた推進体制

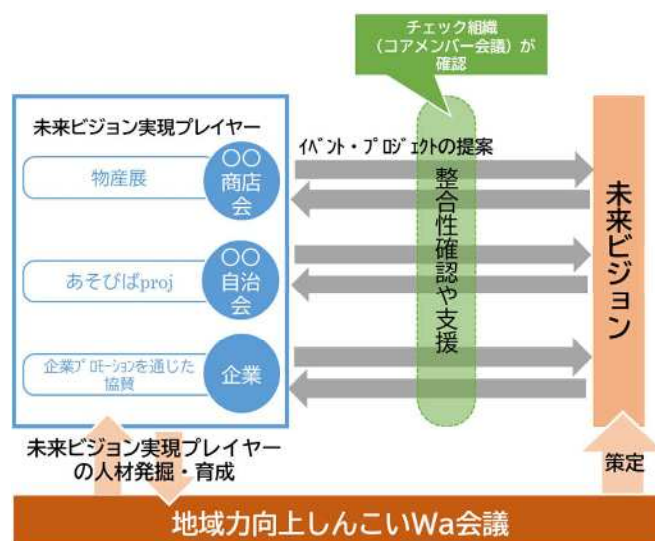
#### 地域力向上 しんこい Wa 会議の役割

- ・「地域力向上しんこい Wa」は、未来ビジョンの策定者として、目標・効果の達成に関する進行管理及び情報共有と活動の新規提案・拡大提案などの支援を担います。
- ・新たな活動者の人材発掘など、新小岩で活動する方々の連携が拡大し、強固となる仕組みを構築する。また、その活動者の視点が広がるための支援を行います。
- ・将来像実現の達成度を評価し、活動方針の検討などを行う。

#### (仮)しんこい Wa 未来ビジ ョンの役割

- ・新小岩の将来像を実現させるための指針となる。
- ・地域の活動が新小岩の賑わい創出・価値向上に寄与していることを「ジブンゴト」として参画・連携してまちづくりに取り組むための「道しるべ」となる。
- ・地域の活動の質を向上させるベンチマークとなる。

体制イメージ図



- ・将来的には、まちづくり法人を立ち上げ、プロジェクトの進捗・実行及び定期的なエリプラ会議を開催します。法人自身が自主事業としてプロジェクトを行うこともあります。

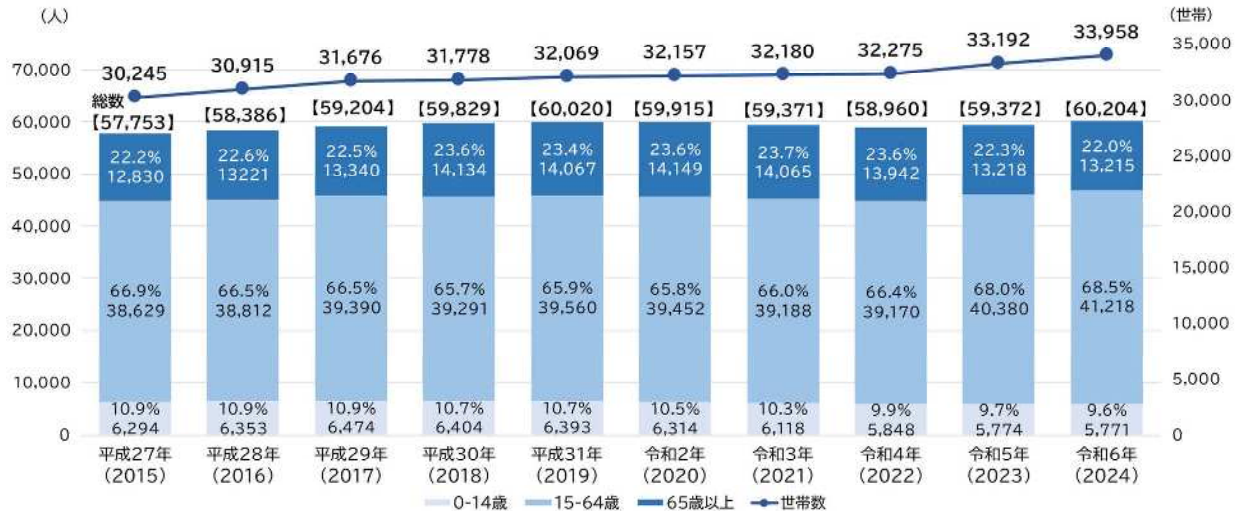
### 目標達成を測る指標の設定

- ・20年後の目標の「達成度合いを測るものさし」の機能として、定量的に評価する指標の設定を検討します。(ファミリー世帯の増加率や、生活利便性の満足度、交流イベントの満足度や、地域関係者のコラボイベントの取組数など)
- ・目標の内容に応じて、複数の指標を設定するなど達成度を多角的に評価し、PDCA サイクルを回していくことで、より効果的な目標達成を目指します。
- ・指標の内容及び達成度合いは、エリアプラットフォームのメンバーで共有し、能動的かつ自律的な活動を促進させます。

# 資料編

## 現状分析データ

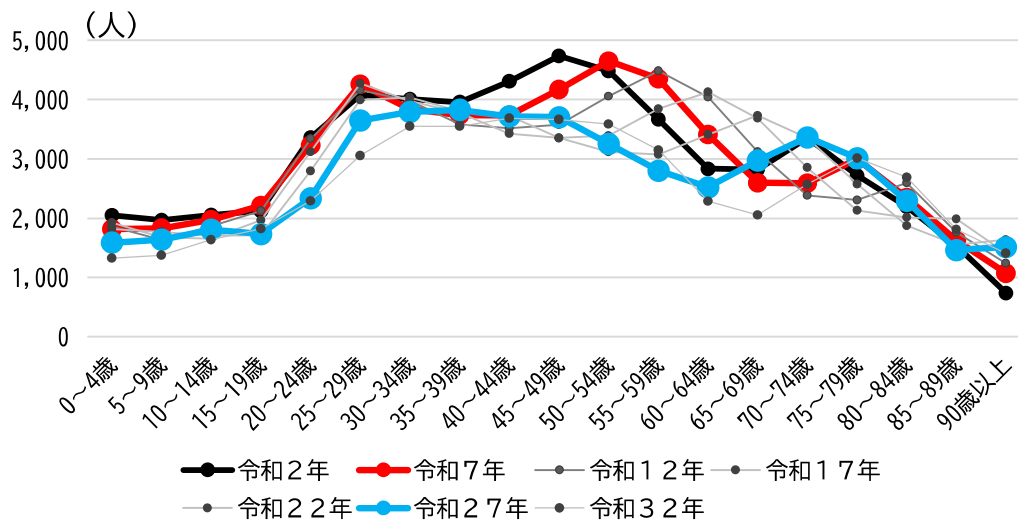
### 新小岩駅周辺の人口・世帯数



※住民基本台帳（各年4月1日）

- 新小岩駅周辺の人口は、平成27年に比べると、2,451人増加している。特に、生産年齢人口（15～64歳）の増加が多い。

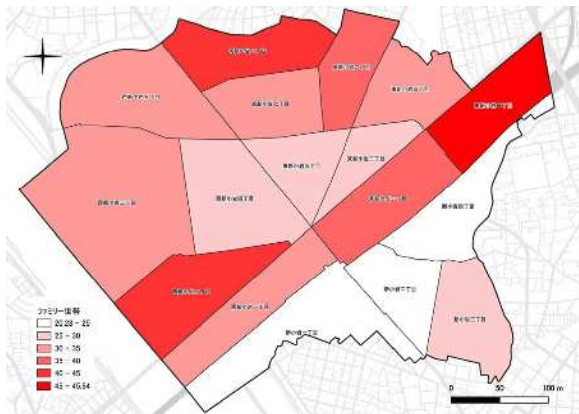
### 新小岩駅周辺の将来人口推計



※R2 国勢調査 コーホート要因法による

- 20年後の令和27年には、40～50代のファミリー層が減少する見込みである。今後は、10代後半～20代を中心とした若い世代がファミリー層になっても、まちに引き続きたくなるまちが望まれる。

### 子育て世帯率

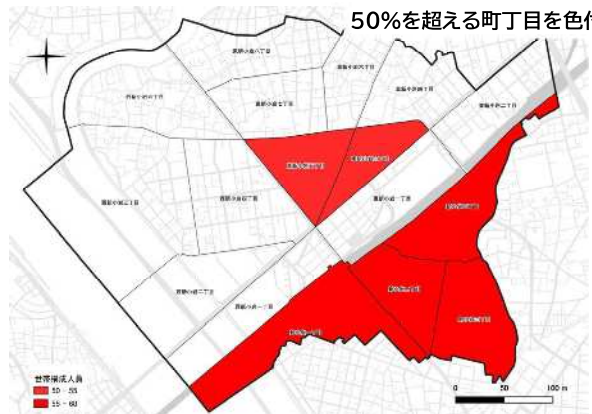


※R2.10 国勢調査より

- JR 総武線以北の西新小岩・東新小岩エリアの子育て世帯率が高くなっている。

### 単独世帯(世帯人員=1人)率

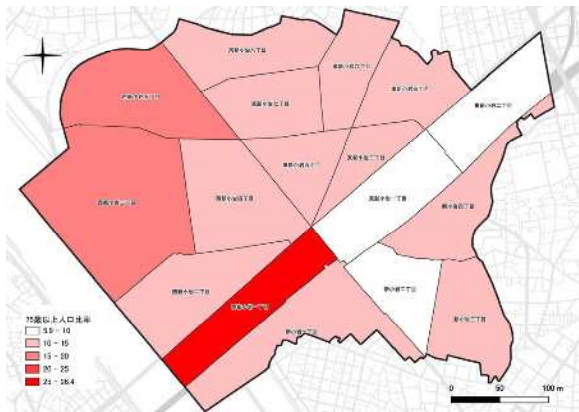
50%を超える町丁目を色付け



※R2.10 国勢調査より

- JR 総武線以南の新小岩一～四丁目の単独世帯率が高くなっている。

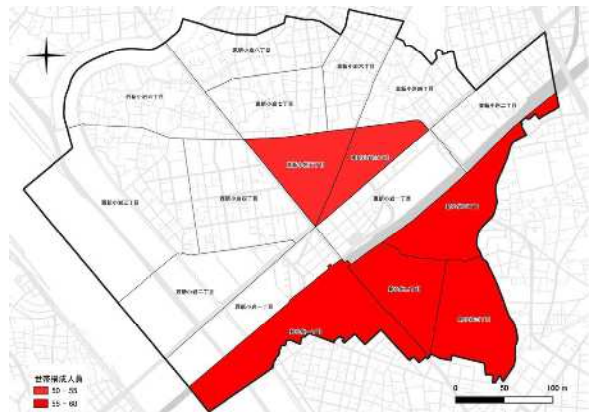
### 75歳以上人口比率



※R2.10 国勢調査より

- 西新小岩エリア（特に西新小岩一丁目）の75歳以上人口比率が高くなっている。

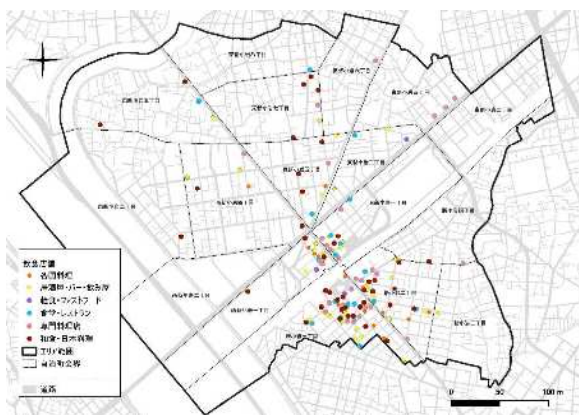
### 外国人居住率



※R2.10 国勢調査より

- JR 総武線以南と東新小岩三・五丁目の商店街エリアの外国人居住率が高くなっている。

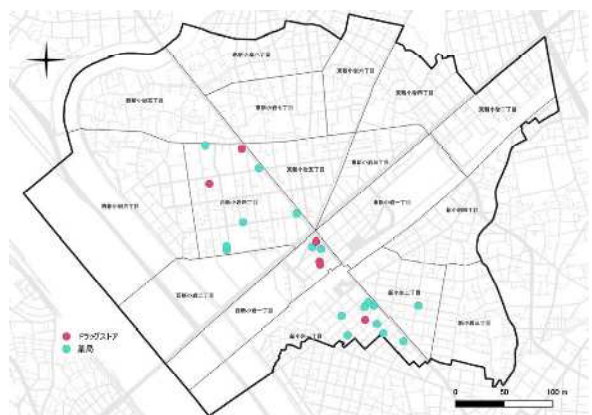
### 飲食店分布



※iタウンページより

- 駅周辺に飲食店は集積しており、住宅地が広がる西新小岩エリアに飲食店は少ない。

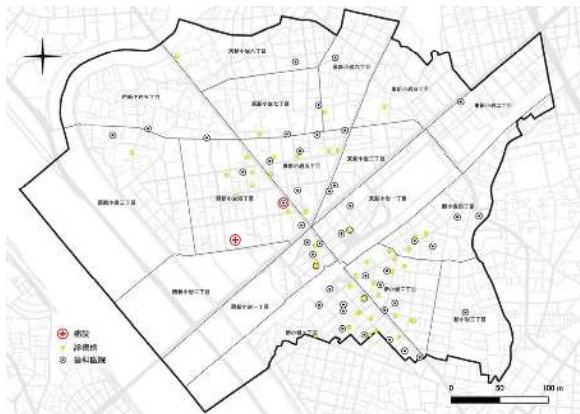
### 薬局分布



※iタウンページより

- 新小岩駅周辺に加え、西新小岩エリアに比較的多くの薬局が分布している。

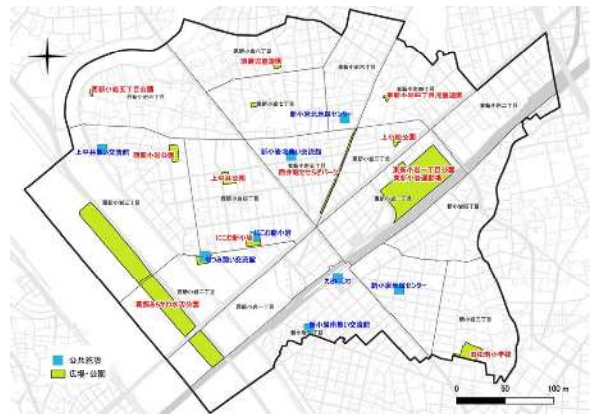
### 医療機関分布



※国土数値情報より

- 医療機関はエリア全体に分布しているが、駅から離れるにつれて減少傾向となっている。

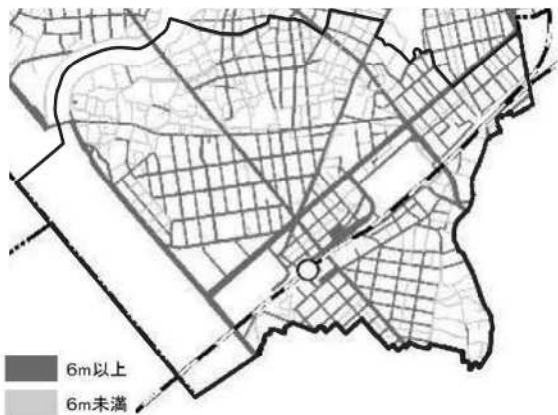
### 公共施設(屋内・屋外)分布



※国土数値情報より

- 広場・公園や公共施設はエリア全体にまんべんなく広がっている。

### 幅員別道路網



※R2.10 国勢調査より

- 西新小岩五丁目など、新小岩駅から離れたエリアに幅員 6m未満の道路が広がっている。

### 緑被分布図(平成 30 年度)



※葛飾区緑被率・みどり率調査報告書より (令和 4 年 3 月)

- 葛飾あらかわ水辺公園など河川敷や新小岩公園に樹木被覆地や草地在り広く分布している。

### 建物倒壊危険度



- 新小岩四丁目地区の建物倒壊危険度が最も高く、エリア全体的も比較的高くなっている。

### 総合危険度







※地震に関する地域危険度測定調査 (第 8 回) より

- 西新小岩五丁目地区と新小岩三丁目地区の総合危険度ランクが 5 と高くなっている。

地域力向上しんこい Wa メンバー紹介

最後に、この「しんこい Wa 未来ビジョン(仮)」の策定に関わったメンバーを紹介します。  
私たちは、まちづくりに関わる者として、互いに手を取り合って、まちづくり活動を持続させます。

<p>団体名 ●●●●●●●●</p> <p>お名前 ●● ●●●</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> 	<p>団体名 ●●●●●●●●</p> <p>お名前 ●● ●●●</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> 
<p>団体名 ●●●●●●●●</p> <p>お名前 ●● ●●●</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> 	<p>団体名 ●●●●●●●●</p> <p>お名前 ●● ●●●</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> 
<p>このサイズ感で 23 (+ 3) 団体分が記載可能</p>	


## 策定の経緯

新小岩に関わる地域の皆さまのご協力のもと、多数の会議を重ねて、知恵を結集してきました。これらのプロセスを通じて、住む人、働く人、訪れる人すべてが活躍できる未来ビジョンを策定することができました。

日付	会議名	議題概要
2024年3月22日	(仮称)新小岩エリアプラットフォームの設立に向けた準備会議	・エリアプラットフォームについて説明 ・コアメンバー候補者へ声かけ ・専門人材の選定
2024年6月4日	(仮称)第1回コアメンバー会議	・コアメンバー会議について説明 ・エリアプラットフォームの立ち上げに向けて ・未来ビジョンについて説明 ・エリアプラットフォームの名称案出し
2024年6月24日	(仮称)第2回コアメンバー会議	・専門人材について ・未来ビジョン・将来像について ・エリアプラットフォームの名称案 ・規約・エリア登録書の確認
2024年7月24日	(仮称)第3回コアメンバー会議	・未来ビジョン・将来像について ・規約・エリア登録書の確認
2024年8月21日	(仮称)第4回コアメンバー会議	・エリア設立会について ・エリアの名称(コアメンバー会議案)の決定
2024年8月30日	新小岩のエリアプラットフォーム設立会(第1回(仮称)新小岩エリアプラットフォーム会議)	・規約(案)の内容確認 / 会員登録方法の確認 ・設立時メンバーの相互承認 ・エリアプラットフォーム・未来ビジョンについて説明 ・未来ビジョン骨子案(コアメンバー会議案)について ・当会議の名称・規約の決定
2024年11月25日	第5回コアメンバー会議	・(仮)新小岩未来ビジョンの構成の確認 ・エリア課題整理のためのワークショップ
2024年12月19日	第6回コアメンバー会議	・未来ビジョンの構成について ・プロジェクト整理のためのワークショップ
2025年1月10日	第2回地域力向上しんこい Wa 会議	・新規会員の登録の承諾について ・未来ビジョン(素案)確認
2025年2月〇〇日	第7回コアメンバー会議(予定)	
2025年3月〇〇日	第8回コアメンバー会議(予定)	
2025年3月〇〇日	第3回地域力向上しんこい Wa 会議(予定) 拡大版 地域力向上しんこい Wa 会議(予定)	
2025年4月〇〇日	第9回コアメンバー会議(予定)	
2025年5月〇〇日	第4回地域力向上しんこい Wa 会議(予定)	

※コアメンバー会議：エリア登録メンバーの中から選出されたメンバーで構成される会議であり、未来ビジョンの細部作りこみや策定後の推進体制等について検討を行いました。

## (仮)しんこい Wa 未来ビジョン(令和7年●月策定)

企画・策定：地域力向上しんこい Wa

(お問い合わせ)

事務局：葛飾区都市整備部 新小岩街づくり担当課

住所〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1 / TEL 03-5654-8331